

● 診療科の特色

- 1) 当科は常勤医 3 名、レジデント 2 名で診療しており、成人の泌尿器科疾患全般を扱っています。診療の特色としては、癌患者が多数を占めており、増加傾向にあります。当科では、今後も泌尿器科癌を診療の中心として、この地域での「がんセンター」を目指したいと考えています。
- 2) 例年通り、手術は膀胱癌に対する経尿道的膀胱腫瘍切除術がもっとも多く、その次は前立腺肥大症に対する経尿道的手術になります。出血量が少ないバイポーラ電極による核出術を採用しており良好な成績となっています。さらに上部尿路結石に対する経尿道的尿路結石除去術が続きます。
- 3) 移植用腎採取術(ドナー腎摘除術)を泌尿器科が担当しています。腎移植外科と協力して、中国・四国地方における拠点施設として腎移植医療の一翼を担っています。
- 4) がんの治療に関しては、患者さまと一緒に考え、手術、化学療法、放射線治療など高度で良質な医療を提供するように心がけています。

● 入院診療実績

1. 主要手術

年間手術件数 517 件

	手術名	件数
1	副腎摘除術	4
2	腎摘・腎部分切除術	12
3	腎尿管全摘除術	4
4	経尿道的尿路結石除去術	38
5	移植用腎採取術	10
6	膀胱全摘除術	4
7	経尿道的膀胱腫瘍切除術 (TURBT, TURBO)	105
8	根治的前立腺全摘除術	34
9	経尿道的前立腺切除術 (TURP, TUEB)	44
10	前立腺生検	103

2. 尿路結石に対する手術

2020 年 6 月よりホルミウムヤグレーザー(EMS 社:SWISS LASERCLAST®)を導入し経尿道的尿路結石除去術による結石治療を開始しました。

手術は尿道から硬性、もしくは軟性尿管鏡(内視鏡)を尿管や腎まで挿入し、直接結石を確認しながら、レーザーを用いて破砕します。破砕された結石をバスケットカテーテルで回収するため、安全かつ確実に破砕から摘石可能です。軟性鏡を用いる手術は f-TUL:flexible transurethral lithotripsy、硬性鏡を用いる手術は TUL:transurethral lithotripsy と呼ばれ、結石のある場所で使い分けします。

当院の最新のレーザー機器は従来の碎石モードに加え、ダスティングという結石を跳ねさせずに砂状に碎石できるモードを備え、より効率に手術を行うことができます。手術は腰椎麻酔、もしくは全身麻酔

下に行い、入院期間は3～7日程度です。患者様の状態や希望に沿って治療を行っています。



● 研究業績

1. 論文発表

- 1) K. Ito; S. Mikami; N. Kuroda; Y. Nagashima; K. Tatsugami; N. Masumori; T. Kondo; T. Takagi; S. Nakanishi; M. Eto; T. Kamba; Y. Tomita; H. Matsuyama; T. Tsushima; H. Nakazawa; M. Oya; G. Kimura; N. Shinohara; T. Asano; Difficulty in differential diagnosis for renal cancer with microscopic papillary architecture: overlapped pathological features among papillary renal cell carcinoma (RCC), mutinous tubular and spindle cell carcinoma, and unclassified RCC. Lessons from a Japanese multicenter study; Japanese Journal of Clinical Oncology.50(11); 1313-1320.2020 Nov
- 2) 転移性腎盂・尿管癌に対する一次化学療法
津島知靖
泌尿器外科 33 5 485-488 2020年5月15日
- 3) 膀胱癌に続発した両側上部尿路上皮癌に対して全尿路摘出術を施行した1例
林 あずさ, 市川孝治, 津島知靖, 土井啓介, 窪田理沙, 井上陽介
西日本泌尿器科 82 3 408-412 2020年8月20日
- 4) 排尿障害を伴う全周性尿道憩室に対して外科的治療を行った1例
松尾聡子, 谷本竜太, 杉本盛人, 津島知靖, 中村あや, 定平卓也, 和田里章悟, 小林泰之, 荒木元朗, 渡邊豊彦, 那須保友
西日本泌尿器科 82 5 514-517 2020年12月20日

2. 学会、研究会

- 1) 小児外科での1か月の経験
林 あずさ

- 第 323 回日本泌尿器科学会岡山地方会 2020 年 5 月 23 日
- 2) 日本泌尿器科学会保険委員会報告
津島知靖
- 第 323 回日本泌尿器科学会岡山地方会 2020 年 5 月 23 日
- 3) Globicatella sanguinis urinary tract infection: a case report
Hiromasa Shiraishi
- 第 74 回国立病院総合医学会 2020 年 10 月 17 日
- 4) 腎盂癌に対し Pembrolizumab 投与後に自己免疫性髄膜脳炎を来した 1 例
平岡悠飛
- 第 72 回西日本泌尿器科学会総会 2020 年 11 月 5 日
- 5) 当院で経験した細菌性髄膜炎の 1 例
今谷紘太郎
- 第 72 回西日本泌尿器科学会総会 2020 年 11 月 5 日
- 6) 当院での pT1a 腎癌に対する腎部分切除術の検討
久住倫宏
- 第 72 回西日本泌尿器科学会総会 2020 年 11 月 5 日
- 7) ORBEYE(オーブアイ)を使用した精索静脈瘤手術の検討
林 あずさ
- 第 34 回日本泌尿器内視鏡学会総会 2020 年 11 月 19 日
- 8) 当院で経験した転移性尿管腫瘍の 2 例
佐久間貴文
- 第 34 回日本泌尿器内視鏡学会総会 2020 年 11 月 19 日
- 9) 当院での腹腔鏡下腎部分切除術の検討
久住倫宏
- 第 34 回日本泌尿器内視鏡学会総会 2020 年 11 月 19 日
- 10) 治療に難渋した両側腎周囲膿瘍の 1 例
平岡悠飛
- 第 325 回日本泌尿器科学会岡山地方会 2020 年 12 月 12 日
- 11) 腹腔鏡, 後腹膜鏡どちらの疼痛が強いのか—体腔鏡下副腎摘除術による検討—
市川孝治
- 第 108 回日本泌尿器科学会総会 2020 年 12 月 22 日
- 12) 当院における根治的膀胱全摘除術の検討
佐久間貴文
- 第 108 回日本泌尿器科学会総会 2020 年 12 月 23 日
- 13) M0 腎癌術後の再発症例の検討
久住倫宏
- 第 108 回日本泌尿器科学会総会 2020 年 12 月 23 日
- 14) Hormone-Sensitive Prostate Cancer(HSPC)に対するホルモン療法
津島知靖
- 日本臨床泌尿器科医会第 16 回臨床検討会 2020 年 11 月 22 日

- 15) 保険教育プログラム 知って得する泌尿器科保険診療の基礎的知識
津島知靖
第 72 回西日本泌尿器科学会総会 2020 年 11 月 5 日
- 16) 「HoLEP 失禁のない核出術を実現しよう」失禁の無い核出術 TUR 習熟者の工夫
市川孝治
第 34 回日本泌尿器内視鏡学会総会 2020 年 11 月 20 日
- 17) フルニエ壊疽の 1 例
白石裕雅
第 307 回岡山泌尿器科カンファレンス 2021 年 1 月 26 日
- 18) 2020 年岡山医療センター手術統計
市川孝治
第 326 回日本泌尿器科学会岡山地方会 2021 年 2 月 27 日